

授業科目名[英語名]

ベトナム農村体験学習[Study through rural experience in Vietnam]

担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]

神田嘉延[099-285-3755]

E-Mail	k6820452@kadai.jp	受講対象	全			
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 人間	開講期	後期集中講義	単位等 2.0

共同担当教員名

吉田 健一

教育目標のキーワード

社会的貢献意識/視野・判断力・探求能力

学習目標(学生の達成 目標)

ベトナム農村の体験学習をとおして、異文化を体験的に学ぶとともに、自分たちのふるさとの文化も同時に再認識するように学習目標をたてる。異文化での子どもや青年の学習状況や生活がどのようにされているのか。異文化体験をとおして自己を見直す人間教育を目標とする。

授業概要(目的・内容・方法)

ベトナム農村の体験学習をとおして発展途上国との異文化青年交流を実施する。日本語を学ぶベトナム農村出身者のふるさとを訪問する計画。ナムディン日本語文化学院に学ぶベトナム農村青年とふるさとの学校教育体験や村の青年たちの交流を実施する。鹿児島を中心に日本の農村文化について事前に講義をする。交流のための基礎的知識を身につけておく。ハノイの社会科学院と日本文化学院のスタッフが全面的に協力する。

授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)

事前研修 8月3日～4日
(8月3日 10時30分より 8月4日 10時30分より、稲盛アカデミー棟A21室にて)
ベトナムの体験学習 鹿児島発9月22日から10月3日鹿児島着まで
9月22日 鹿児島から中部国際航空 中部国際空港からハノイ ベトナム航空 ハノイの国家経営のホテル・社会科学院の近くに宿泊
9月23日 (午前) ハノイの社会科学院でのベトナム北部農村生活について講義 社会科学院の日本研究担当責任者ファー講師日本語にて
9月23日 (午後) ベトナム戦争の博物館見学 枯葉剤被害の子供の施設見学
9月24日～ ナムディン日本語文化学院訪問して学生との交流とロイ副院長からベトナムの農村文化について話を聞き、主な歴史文化遺跡を訪問 ベトナム北部農村の複合文化と共同体性、民族の独立性を学ぶ
9月27日～ ベトナム北部ナムディ省の農村に民宿する。
子供たちとの交流と農村青年との交流、村長をはじめ各種の村のリーダーから話をきく。
ベトナム農村の運河地帯であるので、のんびり過ごしながら交流をする。
10月1日 ハノイ国家大学学生たちとの交流
10月2日 民族博物館等、ベトナムの社会教育施設の見学 夜行便にて中部国際空港へ
10月3日 早朝 中部国際空港着 鹿児島空港へ

受講要件	発展途上国であるベトナムの農村についての予備的な学習をしておくこと。		
評価基準および方法	参加者のレポート30%、実際体験のうち勤勉性40%、創造性30%		
教科書	「ベトナム農村体験学習」の資料をつくりますので、研究室にとりくくるように	参考書	神田 嘉延ほか著「ベトナムの自立発展と生涯学習」を研究室にとりくくるように(無料)
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	参加者で質問がある場合は、メールでやりとりする。	その他	旅費は学生負担ですので鹿児島からハノイまでの往復料金と宿泊費 10万円予定